

～市民協働の活動事例～
武雄市内の取り組みを紹介します！

第28弾

まちづくりはオーケストラ

夜空を鮮やかに彩る花火。その一瞬の美しさに人々は心奪われます。実は去年秋から年末にかけて、市内各地域で花火が打ち上げられていたのをご存知でしょうか？単なるイベントではなく、地域共有の思い出に。それぞれの地域の「花火」に込めた思いを伺いました。

担当 市民協働課 ☎0954-23-9122

武雄町川良区

10/24



川良区長
中村さん

毎年8月に川良公民館祭りと同時に行っていた花火ですが、大雨の影響で延期を余儀なくされました。「今年はもうしないの？」というお声も頂き、10月に花火のみの開催となりました。それでも、うつむきたくなくなるような出来事が多かった中、空を見上げて地域の方々と一緒に見た花火は格別なものとなりました。消防団をはじめ、ご協力いただきました皆さん、本当にありがとうございました。

若木町宿区

12/25



宿区長
原口さん

私たち宿区は20数世帯の小さな地区です。その若者が中心となり、コロナ禍でも密を避けられ、地区のみんなが楽しめる花火を是非やってみようと、今回の花火が実現しました。初めての試みでしたが、自分たちでイベントをやり遂げたという達成感もありましたし、「小さい地区でもやればできる」という自信になりました。いろんな方から連絡があり、喜んでもらったことも嬉しかったです。



川良区民の声

高齢なので外出するのが難しかったけど、家からたのしめて嬉しかったです！

物はいずれ無くなるけれど、思い出はずっと心に残る。地域の人たちの心に川良の良い思い出が残り、将来語り伝えてもらえると嬉しいな。

花火をきっかけに、家族・孫が揃って夜空を見上げました。川良に住んでよかったです！

会社の同僚たちも集まって、花火とご飯で交流ができました！素敵な時間を過ごすことができました！



グラウンドに駆けつけた500人以上の観客。これだけ間近に見上げられる花火大会は、珍しいとのこと。



たくさんの花火が夜空を彩りました。

12/24

武雄市商工会

(山内町・北方町)



この花火大会はコロナ禍でイベントも少なくなっている中、「地域の子供達のために何かできないだろうか」という思いからスタートしました。打上場所は前日まで伝えない徹底ぶり。だからこそスペシャル感のある花火になったのではないかと思います。初めてのことで、申請や開催後の片付けなど大変でしたが、お礼の言葉や次回開催を望む声を聞くと、やって良かったと思いました。



武雄市商工会青年部
久保さん

武雄de花火実行委員会

11/20



実行委員長
山口さん

人口減少が叫ばれる中、どうか若者に帰ってきてほしいという思いで、令和元年春ごろから計画を始めました。なかなか計画は進まず、その思いが形になったのは令和2年になってから。周囲の良い反応や好評の声を受け、令和3年にもこうして実施することができました。今後も可能な限りは続けていきたいですし、花火を通して皆さんに「武雄での思い出」を作ってもらいたいと思っています。

